

キリストがすべて

第156号 2017年12月20日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
小林学長召天	2
小林学長の思い出	
座談会	6
共立女子聖書学院再開60年	
共立女子聖書学院跡地を歩く	9
夏の報告特集	11
名誉教授授与	12
フランクリン先生	
支援会ニュース	13
Information	16

創立記念日の祈禱

祈り

天の父なる神様。

今日、創立記念日のチャペルに、私たちは寂しく座っています。いつも共にここに座り、そして今日は説教を担われるはずであった、小林高德学長が、今にもここに来られるような気がいたしますのに、おられません。

小林高德学長を、余りにも突然、遠いアメリカで、天に召された、その主のみ旨は、私たち人間にはかりがたく、厳し過ぎます。

どのように受け止めればよいかを知らぬまま、皆が動揺し、疲れております。

この緊急事態に、アメリカに行かれた先生を初め、対策本部を中心にベストの対応が重ねられ、TCUの日常が支えられておりますことに感謝いたしますが、主よ、今、何よりもあなたの支えが、必要です。

特に、奥様に、ご家族に、天のお父様からの慰めと励ましを、御手を触れてお与え下さい。

そしてこのTCUを、憐れんで下さい。学生一人ひとりを慰め、教員を慰め、職員を慰め、諸教会関係者全てに神様ご自身がお出会いください、御心を現して下さい。

私たちは、御心だけが成ることを願って神様を見上げ、神様を畏れ、悔い、今後進むべき方向を、神様に求めます。

死の力を打ち破る、福音の力に依り頼ませて下さい。

「わたしを信じる者は、死んでも生きるのです」とおっしゃったイエス様に依り頼ませて下さい。

やがて天の御国で復活の体をもって再会する時を望ませて下さい。そして私たちも、一人の例外もなくやがて自らの死を迎える、弱く脆い人間として、信仰の備えを各自になさしめて下さい。

この困難の時、全てを、ご支配なさり導きたまう主を愛する道に、私たちの歩みを定めさせて下さい。

救い主、イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

2017年11月1日 創立記念礼拝報告後の祈禱

東京キリスト教学園理事長 廣瀬 薫



東京基督教大学

小林高德学長 召天

Dr. Takanori Kobayashi went Home to be with the Lord

小林高德学長は、アメリカ出張中10月23日(日本時間)に心筋梗塞で倒れ、集中治療室で治療を受けていましたが、10月24日21:30(日本時間)に天に召されました。61歳でした。

小林学長は、日本と世界の教会と社会に仕える働き人を育てる本学においてかけがえのない存在であり、大きな柱でありました。



小林高德学長 東京基督教大学・日本長老教会東関東中会 合同葬

11月25日東京基督教大学チャペルにて、任期途中に米国で心筋梗塞によつて倒れ召天した小林高德学長の東京基督教大学・日本長老教会東関東中会 合同葬が行われました。当日はTCUの卒業生や長老教会関係者ら、小林学長と親交のあった約850人の参列者が国内外からかけつけました。

司式は廣瀬薫東京キリスト教学園理事長、説教は小林学長と旧知の仲で神学校時代も共に過ごした遠藤潔牧師(日本長老教会蓮沼キリスト教会牧師)が務め、遠藤氏は「天には私たちの信仰のレースを見守る大群衆がいます。大勢の信仰の証人たちが天から私たちに声援を送ってくれているのです。小林先生の声もその中で響いています。『イエスから目を離さないで。絶対に走りぬくことができるから大丈夫。ただイエスのみ。キリストがすべて。』と語りました。

式の最後には司式者の廣瀬薫理事長が「任期途中に小林先生を失ったTCUは大きな痛みを覚えています。死の力を打ち破る福音の力をいただいて歩めるようにと願っています。イエス様の『私を信じる者は死んでも生きるのです』というお約束ゆえに、やがて天の御国で復活の体をもって再会する望みがあります。」と挨拶し、小林学長の奥様 宮子夫人は「61年という短い生涯でしたが、こんなにも皆様に慕っていたとき、愛していただきましたこと、また、神様に用いていたいただきましたことを覚えて心より感謝申し上げます。皆様には折に触れて主人を思い出していただき、主人が取り組んで参りましたことをいろいろな形で引き継いでいただきまして、神様にご栄光が帰されますならば、こんなに幸いなことは、ございません。」と挨拶をされました。

式後、キャンパスの中庭では、日が沈むまで、小林学長との思い出を語り合う方々が残っていました。



小林高德学長 プロフィール

1956年 3月13日 長野県小県郡東部町(現 東御市)生れ
1978年12月24日 日本基督長老教会 杉並教会で受洗
1980年 3月 東京外国語大学インド・パーキースターン語学科卒業
1980年 4月 東京都立永山高等学校英語教諭(～84年)
1987年 3月 東京基督神学校卒業
1987年 4月29日 宮子夫人と結婚
1989年 6月 カルヴァン神学校 神学修士号取得
1995年 4月 東京基督神学校で教鞭を執り始める
1996年 4月 東京基督教大学で教鞭を執り始める
1998年 6月 共立基督教研究所共立研修センター長(～09年)
1999年 4月 セント・アンドリュース大学哲学博士号(新約学)取得
1999年12月 日本長老教会 東京中会で教師に受按
2000年 4月 日本長老教会 柏シャローム教会代理牧師就任
2006年 4月 東京基督教大学教授となり、神学部長に就任
2008年 2月 日本長老教会 柏シャローム教会牧師(～14年)
2014年 4月 東京基督教大学学長に就任
2017年10月24日 召天



葬儀の日に展示されたメモリアルコーナー

主な業績

小林学長は2006年に神学部長に就任し、2014年に学長に就任。任職中に天に召されました。学部長時代からの11年半は本学にとっての大きな転換期であり、小林学長はその重責を果たしてきました。この間の主な業績は次の通りです。

学部長時代(2006年～2013年、当時の学長:倉沢正則)に、2008年キリスト教福祉学専攻開設(国際キリスト教学科を国際キリスト教福祉学科に改組)、2010年神学部神学科教会教職専攻設置、2011年教会音楽専攻科設置、2012年大学院神学専攻科博士前期課程開設。学長に就任してから2014年に大学院神学専攻科博士後期課程開設。これらの大きな大学改革において指導的な立場で従事。その他にも学内のグローバル化を推進、大学基準協会による大学認証評価適合認定など、まさに激動の時期に数多くの働きをしてきました。

教育機関としての大学の姿を整え、教会と社会に仕えるキリスト者の育成に邁進し、本学が未来に向けて飛躍する基礎を築きました。

また、学外においてはアジア神学協議会(ATA)議長を2013年から務め、急速なグローバル化が進むアジアのキリスト教会における神学の教育研究を牽引していました

The Memory of Kobayashi-Sensei

2010年ACTS-ES卒業 ネパール在住
Karmacharya Richan

Dr. Kobayashi was one of the most loved and revered professors, a friend and a guardian to all at Tokyo Christian University. He was always calm, composed and committed towards those who were under his care. He taught us the Gospels during our classes at TCU. His way of teaching was full of wisdom, simplicity and inspiration. His love and devotion for the Lord Jesus Christ was vividly seen not only through his graceful teaching but also through his lifestyle.—

TCU students were truly blessed to have him as a guardian, too. During the Christmas season, the international students greatly miss their homes. The 'Kobayashi Home' would become a 'home away from home' in times like that. He and Mrs. Kobayashi would always make us feel nice and comfortable. Even more so, I am eternally thankful to Dr. Kobayashi for his endless love, care, and prayers for Baileyna (then my fiancée, now wife) when she was months-long hospitalized due to a ski accident, and then for accepting our request to walk with her down the wedding aisle.

Dr. Kobayashi's sudden demise is something very hard to accept. Yet, I believe that his life was a pleasing aroma of Christ. I sincerely pray for God's comfort and warm embrace over the most bereaved, Mrs. Kobayashi Sensei.

小林先生はTCUで最も愛され、尊敬される教員であり、私たちの友人そして援助者ともなられました。先生は静かな情熱を持って関わる人々を愛し、福音書のクラスではその知恵と洞察を用いて教えてくださいました。キリストへの愛と献身がその教えと生き方にはっきり表れていました。

私たち留学生への愛は、クリスマスの時期にも注がれました。小林先生ご夫妻は留学生をご自宅に招かれ、特にホームシックになりやすい時期に、家庭の温かさを味わわせてくださいました。

特に感謝に堪えないことは、スキー事故でベイリーナが数ヶ月の入院生活を余儀なくされたとき、先生が示された愛、優しさ、祈りです。そして私たちの願いに応じてくださり、結婚式の入場時にベイリーナの父親役として一緒に歩いてくださったことです。

先生の召天はとても受け入れ難いものです。でも先生の生涯はキリストの香りを放つ、主への捧げ物であったと思います。最も深い悲しみの中におられる小林宮子先生に、神様の慰めと守りがありますよう祈っています。



TCTS卒業写真
二列目左から二人目が小林学長、最前列
右から二人目が筆者

小林高德学長の思い出

TCU特任教授 倉沢 正則

小林高德先生と大学行政や運営での「二人三脚」の歩みをしてきた者にとって、突然の訃報はことばを失う衝撃でした。TCUに召されて、「宣教の働き人」育成を担う中、共立基督教研究所共立研修センターでの働き、アジア神学協議会(ATTA)での働き、さらには学長・学部長での学科改組や「大学認証評価」への取り組み、それに伴う神学校閉校から大学院設置への歩みに、小林先生は労苦を共にした「同労者であり戦友」であったからです。周りからも「TCUの名コンビ」とうらやまれるほどでした。彼が学長を引き継いで今後のさらなる発展を願ったことです。

小林先生の用意周到さや緻密さにどれほど助けられたことか。東日本大震災での彼の機敏さと危機管理能力は今も鮮明に私の脳裏に焼き付いています。「神は私たちが最悪と思うことを用いて最善をなすことができる」(「デイリーブレッド」2017年11月3日)に心を強くし、宮子夫人とこれからのTCUを主なる神(ローマ8章28節)にお委ねする次第です。



タカノリさんの思い出

1987年TCTS卒業 蓮沼キリスト教会牧師 遠藤 潔

高德(こうとく)の士、小林高德先生。でも、私の中では「信仰の兄」「タカノリさん」です。出会ったのは37年前の5月、日本基督長老教会(現在の日本長老教会の前身)の連合青年会の会合でした。私は18歳の大学一年生、タカノリさんは大学を卒業して高校の英語教師になって間もない時でした。その会合でタカノリさんは連合青年会の会長になり、なぜか私は副会長になってしまいました。以来、私はタカノリさんの後ろをついて、たくさん世話になって、今日ここまでまいりました。

出会って間もないころ、軽井沢で日本基督長老教会の修養会があり、同室になりました。朝、私が目覚めると、タカノリさんは自分の布団の上に正座し、聖書を読み、黙想し、静かに祈っていました。その光景は新鮮で、衝撃、私の心に鮮明に焼き付いています。「キリスト者の起居、起き臥しは、かくのごとし」と、神に向き合う信仰生活の核心を、無言のうちに教示された体験でした。

To “Otousan,” Who Went to Be with
My Heavenly Father……

2011年ACTS-ES卒業 ネパール在住
Baileyna Shrestha



小林先生との思い出

東京基督教大学大学院博士課程 山内 慎也

イエス・キリストの弟子のヨハネは、自分のことを「イエスが愛された弟子」と記していますが、私のように多くのTCU生が「自分は小林先生に愛された」と、先生との思い出を振り返っているのではないのでしょうか。

私がTCUの2年生の時、当時、小林先生が牧会されていた柏シャローム教会に実習生として受け入れていただきました。それ以来、先生のお宅やラーメン屋、時には温泉で、お忙しい時間の中から交わりの時間を作ってくださいました。卒業後、私が牧師になり、先生が学長になられてからも、チャペルの裏の林で1時間近く立ち話をしたこともありました。1年前にいただいたお手紙には「なかなか時間が作れませんね。ゆっくりラーメン食べたいですね。」とあり、楽しみにしていました。

お忙しい中でも、いつも一人一人を気にかけて、学生との時間を大切にされていた小林先生の牧会者としての姿に、私も倣いたいと思います。

It is hard to believe that you are no more with us.
It seems like yesterday I met you and had you around me all those years.
Like a flash of light, you went away
Not letting me say goodbye
It is hard to believe that you are no more with us.
It seems like yesterday that you walked me down the aisle
Dressed in my wedding gown, I held you “Otousan”
The memories are still so fresh
The grief is that you aren’t here to cherish them.
It is hard to believe that you are no more with us.
It seems like yesterday that you as my mentor
Gave me wonderful insights hidden in the Scripture.
They are the treasures that I hold so dear
Never could thank you enough and you aren’t here anymore
It is hard to believe that you are no more with us.
I do understand that you are gone to be with my Heavenly Father
At eternal peace and in His Holy presence
Singing praises to the Glorious One in the realm of heaven
Not here with us, but there where your heart had always been.

“お父さん”がもうこの世にいない、それが信じられない思いです
TCU留学中の日々先生は近くにいってください、その記憶も鮮明なのに、お別れを申し上げる間もなく行ってしまわれた
ウエディングドレスを着た私の隣で、腕を組んで歩いてくださった“お父さん”
とその時のことを話したいと思っても、もうおられない
先生が導いてくださった、みことばの深い理解は私の宝物です、と伝えたくても、それが叶わない
先生が行ってしまわれたことを受け入れるのは難しい、でもわかっています
先生は天において、父なる神様の平和と臨在のもと、賛美を捧げておられます。先生の心はいつも天の御国にあったから。





卒業写真

女子献身者教育の伝統と今

共立女子聖書学院・再開60周年記念座談会

TCUの前身校の一つである共立女子聖書学院(以下、共立)は、戦後1957年に横浜市山手で再開され、今年で60周年を迎えました。1980年の三校合同を機に、女性献身者教育の伝統は東京キリスト教学園に「共立」の名前と共に受け継がれました。1881年創立の偕成伝道女学校から時代の変化に翻弄されながら受け継がれた共立の女性献身者教育とはどのようなものだったのか、それは現代の女性献身者たちにどのようなことを語っているのかを考えるため、共立女子聖書学院の卒業生と教会教職課程に在籍する女子学生との座談会を行いました。





山口 陽一
・司会
・TCU大学院神学研究科委員長

会でも多くない中で、学園の中にも女性の教職の先生がいっぱいじゃないので、女性教職の具体的な姿や働きがイメージしづらい。もちろん男性の先生から学ぶことはたくさんあるのですが、やはり女性教職の先生が



野寺 やすみ
・TCU大学院博士前期課程1年次

なった方や宣教師も多分出ていますが。鈴木 私人としては、助け手としての歩みをしたかと思っていまして。また、学校全体としては宣教師や牧会者として出て行く人もいましたが、祈っていたけれど道が開かれなかった人もいますね。

山口陽一(以下、山口) みなさん、今日はお集まりくださりありがとうございます。まずは七絵先生から当時の共立の学生生活の様子を伺わせてください。かなり伝道熱心な学生生活を送ってらっしゃったと聞きましたが。

鈴木七絵(以下、鈴木) とにかく楽しい学生生活という思い出ですね。伝道と言っても、あれこれ準備して子ども会に行くようなことでしょうか。それも楽しかったですね。毎週土曜日になるとみんな出かけていて、4〜5カ所ぐらいで同時並行で日曜学校をやっていました。今のTCUにもわわわクラブがありますね。

山口 わわわは全員ではなくサークルのメンバーだけで行きますが、共立では全員だったんですね。それはすごい。寮生活はどのような雰囲気でしたか？

鈴木 部屋は8畳に3人で座り、机が三つ。部屋の出入り口はスリッパをきちんと整えて出入りするか、廊下はワックスでピカピカ、そんな風にしていました。

あと印象的だったのは、授業の後に講師の先生に紅茶をお出しするのですが、宣教師の先生は、紅茶の葉はスプーン二杯で十分ですと細かく教えて下さったこと。食事作りもお手伝いが当番制で、何人か厨房に入つて作っていました。キッチンには誰が使つてもよかったです。日曜日などは自分で作ったりしましたし、ケーキを作る人もいました。

佐藤真理子(以下、佐藤) まさに女性だけの世界ですね。先生方も全員女性ですか？

鈴木 いえいえ男性の先生が8割ぐらいいました。

野寺やすみ(以下、野寺) 宣教師の先生も多かったのですか？

鈴木 授業をしていらつしやる先生は3〜4人でした。アメリカカンジョークをよく言ってくれる先生もいましたが、理解するの時間がかかって、今頃笑うなど言われました。女性の先生がいたら良いなと思いますか？

野寺 それはやはり思いますね。女性の教職者があまり教

身近にいたら、女性特有の課題に関して分かち合い、女性教職としての困難や強みなど様々な面からアドバイスを頂きながら、より良い学びができると思います。女性教職者のモデルという意味でも、実際の学びの面でも女性の先生がいると良いなと思います。

鈴木 そうでしょうね。でも、それは男性の中で学んでいる女性だから思うんですね。私たちは女性の中にいて、男性の先生が語ってくださるという環境でしたので、あまりそういう疑問を持ったことがないし、悩んだこともなかったですね。

佐藤 TCU入学前は女性の多い大学にいましたがTCUに来て、女性がマジョリティの中でやってきたことが当たり前ではなかったんだなっていうことを感じます。神学校のプログラムも、教職の働き方も、圧倒的マジョリティである男性中心の制度となっていて、女性は男性化してそこに合わせていかざるを得ない状況があります。このことによつて、教職を目指す女性

の多くはバランスを崩しています。女性には繊細さや包容力といった教職として生かされる賜物がありますが、体のつくりからして延々と同じサイクルで機械のように動き続けることはできません。現状システムを作り上げる側にいるのも男性なので、この問題を改善することは非常に難しい部分があります。しかし、すべての器官を尊いものとするのがキリストの身体ならば、この問題は解決しなければなりません。このことを解決することによって、女性だけでなく男性の教職も過労死などの危険から守ることができると思っています。このことを覚えてこれからも祈り続けていきたいです。

山口 共立の情熱的で細やかな教育のことがよくわかりましたし、佐藤さんの指摘されたことも大切ですね。共立の伝統を汲むTCUとしては、教会教職者育成における女性の視点を大切にしていきたいと思えます。ところで、共立では伝道者として学ぶということが前面に出ていましたか？ 牧師夫人になつた方や宣教師も多分出ていますが。

鈴木 私人としては、助け手としての歩みをしたかと思っていまして。また、学校全体としては宣教師や牧会者として出て行く人もいましたが、祈っていたけれど道が開かれなかった人もいますね。



鈴木 七絵
 ・共立女子聖書学院1973年卒業
 ・日本同盟基督教団町田南キリスト教会伝道師

結婚して牧師夫人かという進路が多かったのですが、信徒の方と結婚された方もいました。でも、そのような方がちゃんと与えられた学びを生かしてその奉仕をされているという姿を見て尊敬しましたね。私は牧師夫人という立場が無ければ、教会の奉仕などを続けることができなかったのではないかと思えます。そのような弱さを神様はご存知だったからそのように導いてくださったのかなと思います。置かれている立場にあるから、この働きができたなと思っています。信徒の方と結婚しても奉仕を続ける強さは私には無いと思いました。

山口 女性教職を認める教派・教団は増えてきていますが、当時はやはり女性が教職になれないというケースは多かったのですか？

鈴木 20年ぐらい前に齋藤篤美先生が野ゆり会(共立の卒業生会)で話しをしてくださったことですが、先生が共立に関わった最初の頃は、宣教師の先生たちが女性も男性も関係なく献身をとアピールをしたけれど、いざ卒業という時に遣わされる場所が無かったという時に遭わされた。宣教師をサポートして奉仕できた人は良いけれど、そうじゃない人は行く先が無かったという話をされていました。かといって信徒の方と結婚すると墮落したと言われてしまったようです。私たちの時代はそこまでではありませんでした。

山口 以前の神学校はそうでした。女子学生が信徒の方と結婚すると、献身はどうなったのかと相当問われていた気がします。

鈴木 私たちの時代は独身で宣教師か、



佐藤 真理子
 ・TCU大学院博士前期課程2年次

せんが、共立の卒業生たちの歩みは貴重かもしれませぬ。卒業生の中には独身で牧師になり今でも働きを続けている人もいますし、いろんな歩みをしている人がいます。そのような歩みを送りだしていた共立は、日本の教会で珍しいことかもしれません。

佐藤 結婚と女性の働きとの関係は複雑で男性の場合は結婚してもしなくても、進路にそれほど変化は無いと思えますが、女性の場合は、その人生の歩みの中で献身者としての召し問われたり、計画通りにいかなかったりする面が強いのかなと思います。そこが進路を考える上ですごく大きな課題で、それゆえ委ねるということではあるのですが、人間の頭でこの時はこうしてついでという訳にはいかないというのを感じています。

野寺 私もTCUに入学してから、女性が献身するということがどういうことかというのを考えるようになりました。結婚

婚もしたい、教職としての働きもしたいと両方願うと将来の働きが定めにくいというのが女性教職者にあるのかなと感じます。一回どちらかを手放さないといけないというプロセスを経なければいけない。それを通して主に完全に委ねることを学ぶのでとても大切なことだとは思いますが、ただやはり女性の場合は、教職を考える上で男性教職者にはない特殊な課題があることを感じています。

山口 女子学生の相談もよく受けますので、それなりに理解はしているつもりでしたが、こうして何うと、やはり女性の先輩教職者が相談にのれると良いと改めて思えますね。

佐藤 昨年スウェーデンにインターンで行ったんですが、女性が半数近く牧師をしていて、こういう社会や教会はいいなと思いました。今の日本に適用させるには難しいのですが。

鈴木 確かに、今の日本でそのような環境を望むのはなかなか難しいかもしれま

佐藤 そういう方々とのネットワークがあると良いなと思います。できるだけ多くの女性の教職者の方々のつながりが持てたらうれしいです。

野寺 私も共立の卒業生の方々と先生方とお話しをする機会があれば良いと思いました。

山口 TCUには、佐藤さんの呼びかけで女性教職者をめざす学生の祈祷会があります。大学の方でもそれを受けて、月曜日のチャペルに女性教職者をお招きし、女子学生と昼食や午後の交わりを共にしていただいたりしています。女性教職者をめざす学生の悩みや課題については男性の学生も共に考えたいと思いました。今日は参加できませんでしたが大学院生の鈴木美津子さんが修士論文で共立女子聖書学院の歴史を研究しています。共立の歴史と伝統をこれからのTCUの教育の中にも生かして行きたいと思えます。本日はお忙しい中、ありがとうございます。

深澤先生と共立跡地を巡るツアー



さあ出発！

10月20日午前10時JR石川町駅、共立女子聖書学院元教員の深澤健一先生、賀川ハルの研究をしている岩田三枝子准教授、阿部伊作・歴史資料保存委員、中南守・学長室広報担当(遅刻!)が集合。深澤先生のお祈りから、さあ、いよいよ共立女子聖書学院跡地と所縁の地を巡るツアーへ出発です。

最初の目的地は、共立女子聖書学院のチャペルから礼拝が始まったという「日本長老教会横浜山手教会」。待ち受けていたのは、いきなりの急階段!しかし79歳の深澤先生はぐんぐん登っていきま

岩田「あゝあそこですね〜着きましたね〜」

深澤「あそこは日蓮宗のお寺。教会はその隣ですよ。」

岩田先生の天然げけも炸裂。

残念ながら教会は新会堂建築の真っ最中で、会堂は解体されています。

深澤「昔は若者の教会でしたので階段



も気にならなかったですが、今は高齢者の方も多いでしょうから大変ですね。さあ先を急ぎましょう。階段を下りますよ。」

せっかく登った急階段を下り、しばらく行くと「さあ、この先です」とまた急階段!いきなり「坂の町」横浜の洗礼を受けます。

共立女子聖書学院跡地へ

坂を登り終えると、右手に横浜女学院、左手に横浜共立学園が見えてきました。

深澤「横浜共立学園から土地を譲ってもらって、共立女子聖書学院は再開したんです。」

阿部「この辺りはかつて外国人居留地だった頃の番地番号が今も残っているんですよ。」

深澤「そうそう。共立女子聖書学院は横浜山手2丁目です。」

横浜共立学園の

はす向かいに、いよいよ共立女子聖書学院の跡地が見えてきました。

深澤「この一角がすべ



て共立のキャンパスでした。今はもう住宅街になって面影ありませんね。」

岩田「寮もこの中にあったんですか?」

深澤「そうですね。あの辺りが寮、入口は左手で、通りに面した方は裏口でした。」

と、建物の配置を指さして教えてくださったので、みんなでイメージ。

伝道! 伝道! 伝道! の

キャンパスライフ

深澤「次は在日大韓教会横浜教会を見ましょう。この先です。かつて韓国から多くの留学生が来た時期があり、その学生たちが良く奉仕した教会です。彼女たちはとても伝道熱心で、ちょっと買い物に行く時もトラクトをもつて伝道しながら買い物をしていったという話もあります。」

中南「日本人の学生たちもずいぶん伝道熱心だったそうですね。」

深澤「勉強しに来たのか伝道しに来たのか分からないほどでした。土曜日は、ここから汲沢という場所まで教会学校をしに出掛けて行きました。」

阿部「スラム街のような場所でも伝道していたと聞きました。」

深澤「そうですね。昔、水上生活していた労働者の子どものために水上学校というのがあり、そこでも伝道してましたね。若い女学生が行くのですから、すごいですよ。」

突撃! 横浜共立学園へ

そんな話をしながら共立女子聖書学

院跡地と横浜共立学園の前に戻ってきました。そしてここから阿部さんが驚異の交渉を始めます。横浜共立学園には事前のポイントを取っていないかったのですが「挨拶だけでも」と通りがかりの先生をつかまえて、濱田理和子事務局長を出していただき、さらに濱田事務局長のご厚意でなんと坂田雅雄

理事長まで登場。恐縮しながらも、ヴォーリズ建築のチャペル(横浜市指定有形文化財第1号)を見学、歴史資料室にも入っていたが、貴重な資料を見せていただきました。記念にパチリ。

横浜共立学園の皆様、本当にありがとうございました!

横浜指路教会へ

ここからはタクシーで山手を下り、横浜指路教会へ。1874年に建てられた教会で、偕成伝道女学校時代の学生たち、あの賀川ハルも通っていました。訪れた時はちょうど礼拝と聖餐式をしていました。日曜日に仕事等で聖餐にあずかれない信徒さん向けに年4回ほど行っているようです。

女子教育について熱く語る

深澤先生とのランチタイム

そろそろお腹が空いてきました。近く



横浜共立学園 坂田理事長(右から二人目)と濱田事務局長(右端)とともに

「のイタリアンレストランに入り、深澤先生から当時の様子を聞きながら食事をしました。その中の会話を少し。」

深澤「岩田先生の賀川ハル研究の結論は何ですか？」

岩田「え、結論ですか？結論は賀川ハルは豊彦と一緒に社会のために働いていましたが、二人だけの働きではなく、周りの人たちとともに働いていました。クリスチャンもクリスチャンではない人も、男性も女性も共に働きました。そのように協働が重要だというのが結論です。」

阿部「日本の教会にとって当時のバイブルウーマンと呼ばれた人たちの働きや、共立の女子教育はとても重要だったと思います。でも共立が途切れてしまつて、その伝統や歴史も途切れてしまいましたよね。」

中南「TCUの現在の教会教職課程の女子学生たちからは、男性中心の教会教職の学びや環境に葛藤を覚えているという声を聞きますよね。」

深澤「教会に来るのは女性が三分の二なのに、女性の教職者や役職者が少ないのは残念です。僕は共立に行つて初めて知ったんですよ。「なんと男性の目でしか物事を見ていなかったか。」って。女性だったらどう見るか。女性の見方は男性と違うんだよね。神様はそういう風に造つた。かく言う私も偽物です。女子のチームに男子のコーチみたいなもので、本当は女子のコーチの方がもっと強くなる。日

本の教会も神学校も一緒ですよ。」

阿部「大学の授業で共立のことを学んだり、女子教育にフォーカスを当てたり、今日のように現場を実際に見るような共立の冠がついた授業があると良いですね。」

「一同「本当ですね」」

横浜海岸教会／外国人墓地

さあ午後の部が始まります。午後はさらに歴史をさかのぼります。まずは日本最初のプロテスタント教会である「横浜海岸教会」へ。ちよつと月一度の一般開放日ということで禮拜堂に入ることができました。この海岸教会からも共立へ入学した学生がいました。



さらにタクシーで外国人墓地へ移動します。

偕成伝道女学校や共立女子神学校を創設した女性宣教師のピアソンとクロスビーの墓石



へ。ここでしばし深澤先生のお祈りにみなで心を合わせました。

実はここにはもう一人、共立関係者のお墓があります。その方は宣教師のジョン・リード先生。共立女子聖書学院で理事、日本クリスチャン・カレッジで副学長格を務められていましたが、在職中にお嬢さんが16歳で召天。ここ外国人墓地にお嬢さんは埋葬され、やがて自分たちも召されたら同じお墓に入りたいと望まれていました。ご夫妻は2年前に米国で召天し、ご夫妻の遺志により昨年春に同じお墓に埋葬されました。

ところが、このお墓がなかなか見つかりません。深澤先生は高低差のある墓地を端から端まで探し回りましたが見つかりません。墓地の管理事務所に尋ねても「Lead」や「Red」等という方のお墓は無いとの返答。諦めかけていた時、管理事務所から携帯に電話が！



「Red」という方のお墓ならあるとのこと。早速行ってみると、ありました！ついに見つけました！

John Graham Reid先生、奥様はMary Graham Reid先生、そしてお嬢さんはMary Elizabeth Reidさん。お嬢さんの墓石を支えるようにしてリード先生ご夫妻の墓石がありました。

最後は元町へボン邸跡

最後は元町のおしゃれな街並みを歩きながらへボン邸跡へ。そこには医療・教育・文化などの面で横浜のみならず日本社会に大きな影響を及ぼしたへボン博士の記念碑がありました。私財を投げうち、故郷を捨て、またはリード先生のように最愛の人を亡くしながらも、それでもなお日本宣教に生涯をささげた宣教師たちの献身、この献身の上に今のTCUがあるのだ、そのようにしてこの時代に届けられたのだということ、記念碑の傍らに佇みながら強く思わされました。



終わりに

今回のツアーを通じ、今から60年前に再開した共立女子聖書学院やその前身校の日本の教会における存在の大きさを再確認しました。

そして、三校合同によって共立女子聖書学院が無くなつてもなお、女子教育の重荷を持ち続ける深澤先生はじめ当時の先生方や卒業生「野ゆり会」の皆さん。今のTCUがこの共立女子聖書学院の伝統を消さずに、どのように現代に受け継ぐべきか、そのようなことを考えさせられるツアーとなりました。(記 中南)

初めての 介護実習を終えて

キリスト教福祉学専攻2年

和田 結香

私は、7月10日から7月25日まで、特別養護老人ホームのハートヴィレッジで介護実習を行いました。

主にお茶やコーヒーを作つて出したり、食事介助、入浴介助をしたりしました。

中でも、Aさんのコミュニケーションは最も多く、優しく接していただいていたので感謝でした。Aさんは洗濯物をたたむのを義務の様に思われていましたが、毎日行つていて几帳面な方でした。一緒に洗濯物を楽しくたたんだりして良い時間を過ごすことができました。

また、二口食べるたびにうつむく癖があるOさんの食事介助を何度か行いました。Oさんは車いすに座つて寝ていることが多く、あまり話されませんが、何度か目を見て「ありがとう」と言われたのが印象に残りました。食事介助が思う様に行かない方がおり、もっと心のゆとりを持たねばならないことを学びました。

実習前は介助やコミュニケーションが不安でしたが、実習中は個性のある多くの方と接することができ、とても良い経験ができました。



実習報告会の様子

夏の インターン 報告

大学院修士課程1年

金 道均

私は8月に約3週間、イスラエルのエルサレムで神学インターンを行いました。インターン先は大韓イエ

ス教長老会(合同)からの派遣宣教師、趙亨浩師が運営しておられる「在イスラエル韓国文化院」でした。宣教に大変な難しさを覚えているイスラエルという特殊な地域で、「文化」という手段を用いて宣教されている趙先生から、宣教に関する新たな視点と、宣教師の実生活からの学びを得ることを目的としました。

インターン期間中、特にエルサレム市内で行われた2週間の芸術・工芸フェスティバルに出展関係者として参加し、品物の販売や芸術品・工芸品の紹介に取り組み宣教の働きに携わることができました。その働きで目に見える結果をすぐ見出せなくとも、現地の人とのつながりを持つことから始める宣教の働きの謙虚さと、そのような働きに喜んで長い間携わって来られた宣教師の忍耐強さを覚える良い学びの時でした。



(筆者右端)

教会音楽 インターンを 終えて

教会音楽専攻科

川田 あかり

8月20日(9月17日の約1ヶ月間、日本バプテスト教会連合の練馬バプテスト教会で教会音楽イ

ンターンを行いました。今回のインターンでは、主に聖歌隊補助、奏楽、ランチタイムのパイプオルガンコンサート、3つの奉仕をさせていただくことができました。

主日礼拝を、パイプオルガンで奏楽することは初めての経験であり、普段の教会とは異なる礼拝の流れに慣れるまでが大変でしたが、礼拝の中で奏楽者が担う役割の重要性を改めて感じました。9月16日には、オルガニストの片山えり子さんと一緒に第34回目となるパイプオルガンコンサートを開催しました。

様々な時代のオルガン曲を準備するのは容易なことではありませんでしたが、皆さんが笑顔で帰られたことは大きな喜びとなりました。毎回楽しみにされている地域の方々、初めて教会に来られた方など、多くの方にお越しいただき、今後も良い伝道の場、証の場となることを祈っています。



オルガニストの片山えり子さん(左)と



夏期伝道 報告

伝道委員会委員長
大学院修士課程1年

野寺 やすみ

いつも夏期伝道のために、お祈りとご支援とをありがとうございます。7月10日から9日間、日本

各地の10教会へ、約60名の学生・教職員が派遣されました。テーマ聖句として1コリント9章23節を掲げ、参加者一人一人に委ねられた福音の恵みを、遣わされた地で共に分かち合うことの豊かさを味わう時となりました。

伝道集会の企画、トラクト配布や路傍伝道、礼拝での証や説教、また子どもたちの学習支援の働きや農作業など、教会によって夏期伝道の働きは多岐にわたりました。もちろん夏期伝道は新しい出会いや楽しい交わりがあり、喜びの溢れる時ですが、葛藤や挫折も経験し、チャレンジを受ける時でもあります。それでも、主が仲間を通して、みことばを通して、大きな励ましと慰めを与えて下さったという参加者たちの声を聞くことができました。今年も、多くの祈りに支えられ、参加者の数だけ多くの恵みを与えて下さった主に感謝しつつ、報告とさせていただきます。



キリスト教福祉学専攻2年

小此内 寧々さんが 「介護 作文コンテスト」で 奨励賞を受賞

全国老人福祉施設協議会が毎年実施している「介護 作文・フォトコンテスト」に、本学キリスト教福祉学専攻2年の小此内寧々さんの「あなたのおかげで」という文章が奨励賞を受賞しました。

同コンテストは、「喜び」「感謝」「命の尊さ」「やりがい」など、介護の魅力や素晴らしさが伝わる作品を通して「介護」に対する社会の関心や理解を深めることを目的に、2008年度から介護作文・フォトコンテストを開催しているもので、今年で10回目を迎えました。

第10回となる今年度は『Cheers! 誰かがあなたを応援してる』をテーマに、介護に関わる全ての人へ向けたメッセージが伝わる作品を募集していました。

小此内さんは、今年夏に行った初めての介護実習で担当したAさんとのやり取りを紹介しながら、自分自身の心境の変化を「実習の前半、一緒にいるのが怖かったのに、後半は、Aさんに支えられていた」とつづり、初めての实習に挑戦した緊張と戸惑い、そして終えた後感じたやりがいを表現しています。

全文は「介護 作文・フォトコンテスト」のウェブサイトから見るができます。

<http://www.kaigo-contest2017.jp/>

学長代行に 大和昌平 神学部長

小林高德学長の召天により、学長代行は大和昌平神学部長が担うことを11月14日の理事会で決定いたしましたのでお知らせいたします。

大学運営のためにお祈りをお願い申し上げます。

秋学期新入生・短期留学生

今年度も秋学期にACTS-ES新入生が入学し、また、米国の協定校から短期留学生が加わり、一段と国際色豊かなキャンパスになりました。ACTS-ES新入生は6名で、カナダ、日本、インド、インドネシア、ネパール、アメリカ、合計6カ国から各1名ずつ入学しました。短期留学生は14名で、すべてアメリカの協定校から1学期間～1年間の留学生で、大学の内訳はリー大学、オリベット・ナザレン大学、スプリングアーバー大学、カベナントカレッジ、バイオラ大学、テイラー大学、ジェネバ大学、アズベリー大学、ホイートン大学と多彩な各大学から1～2名ずつの留学です。

日本・TCUでの学びと生活が将来の良き備えとなりますようお祈りください。

ステパノ・フランクリン特別教授に 名誉教授の称号を授与



11月1日創立記念日に、ステパノ・フランクリン特別教授に名誉教授の称号が授与されました。フランクリン先生は、ノースパーク大学を卒業後、シカゴ大学大学院で修士号、1976年に博士号(神学)を取得。ウィリアム・レイニー・ハーパー大学、聖契神学校、ホイートン大学などで教鞭を執られた後、1991年より東京基督教大学の教授に就任。1999年より2006年まで第3代学長を務めました。現在東京基督教大学特別教授。専門は組織神学、哲学的神学、比較宗教学。

学長在任中の主な業績として、英語で神学を学び学位を取得するアジア神学コース(ACTS-ES)を設置したことは非常に大きな影響をTCUにもたらしました。同コースの設置により、TCUのグローバル化は強力に推し進められ、当初はアジア地域の学生のためのコースでしたが、現在はアフリカ諸国、欧米諸国、在日外国人、在外邦人など多様な学生が在籍しています。これまでのフランクリン先生の貢献に心から感謝の意を表します。



ACTS-ES新入生



短期留学生

支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

学園デー 報告

静岡地区

静岡地区支援会
下山田 耕一
日本同盟基督教団
三島めぐみチャーチ牧師

現在お仕えする教会では今年、宗教改革五〇〇年を記念し聖書講演会を企画しました。そこで講師選出の際、東京キリスト教学園に相談しようとなりました。東京キリスト教学園は信徒からの信頼も篤く、そして大変頼りになります。今回は学園理事長がお越し下さることとなり有意義な学びと霊的充足の時となりました。

同日午後を東京キリスト教学園の支援講演会ともいたしました。これまでの静岡市から三島市へ支援会を移した影響もあり出席者はごく近隣の学園卒業生と当会の教員でありました。内容はなくさめと希望に満ちた力強いものでした。集会後、教員の小学生が理事長からサイン入り大学パンフレットを受け取り、将来の進路に大きな影響を与えてくれることを願っています。

せっかくの支援会、参加者が少ない事が本当に残念な思いでした。故に今後の課題として支援講演会の会場は巡回させ、知名度を上げ信徒動員とOB・OGの意識向上を期待していく事が良いだろうと閃き来年も開催しようと慰められました。聞く耳の無い民に福音を語る労を思えば、母校の支援要請など苦にもならないと思っていました。レスポンスの無いことはどうにも寂しいものであります。とひと言だけ記しておきます。



TCUのつどい (講演会) 報告

北海道地区

北海道地区支援会
田近 亜紀子
福音バプテスト宣教団
栗山地の塩キリスト牧師

9月18日に大和昌平先生をお招きして「親鸞と歎異抄とキリスト教」と題した講演会を開催しました。強烈な台風が会場付近を直撃する予報でしたが開始間際で豪雨もやみ、悪条件の中で約120kmある市内からの卒業生を含む22名が来会しました。

法然・親鸞のこれまでの仏教にはない深い罪意識は画期的ながらも、肝心の救いの根拠はこうであればという理想物語の阿弥陀如来であること、かたやキリスト教の主イエスは実際に肉体をもって人となられ贖罪を成し遂げ、私たちとの人格的な愛の交わりがあることが語られ、感動に満たされました。

前日もこの者の開拓牧会する栗山地の塩キリスト教会で「仏教とキリスト教」と題した講演を賜り、近隣教会の牧師信徒と地域の方々26名が来会して大きな反響があり、支援会の働きが未信者にも諸教会にも益をもたらすのを目の当たりにしました。

TCUのため祈り支える器がこれらの取り組みからさらに起こされるよう願います。



寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大50%が控除されます。

所得税の寄付金控除

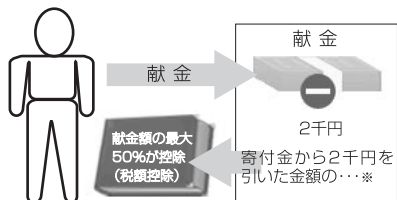
所得税の寄付金控除は、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

所得控除(従来の制度)

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

税額控除(新制度)

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっておりますので、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽にお尋ねください。



便利な定期献金のご案内

●Web(随時・定期献金)設定金額1,000円~

TCUウェブサイトの「寄付金(献金)/TCU支援会」→右「Web寄付(献金)」にお進みください。VISA、Master対応のカード引落しによるものです。

●郵便局自動引落(定期献金)月々500円~

お持ちの郵便局普通口座から毎月自動でお引落するものです。郵便局で「自動払込利用申込書」を下記のようにご記入、お申込ください。お申込には口座の登録印が必要です。

【自動払込利用専用】

払込先:TCU支援会、口座00110-3-79801、払込開始月:約1ヵ月後からの月、払込日:毎月25日、種別:33会費、備考欄に「毎月のお払込金〇〇〇〇円」をご記入ください。

『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2017年度(2017年4月~2018年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』は、10月末までに832の支援者より、6,604万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

献金感謝報告

尊いご献金とご加勢、ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2017年6月1日から10月31日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。(敬称略)

大学献金

- Japan Bridge Mission / KGC 大世界宣教委員
- Nampo Church / 愛のキリスト教会 / 青森福音キリスト教会 / 愛宕山教会 / 足立キリスト教会 / 渥美キリスト教会 / 安城中央キリスト教会 / 五十嵐キリスト教会 / 生駒めぐみ教会 / 和泉福音教会 / 潮来教会 / 市川北バプテスト教会 / 市川福音キリスト教会 / 茨木聖書教会 / 磐田キリスト教会 / 牛久福音キリスト教会 / 内灘聖書教会 / 浦和福音自由教会 / 海老名シオンの丘教会 / 大野キリスト教会 / 大阪キリスト教会 / 桶川福音自由教会 / オン又リ教会 / 春日部福音自由教会 / 交野キリスト教会 / 片柳福音自由教会 / 学校法人共愛学園 / 勝田台教会 / 金沢中央教会 / 金沢独立キリスト教会 / 迎南教會 / 株式会社永明 / 株式会社清水商会 / 株式会社ノア / 上大岡聖書教会 / 亀田キリスト教会 / 軽井沢キリスト教会 / 岸和田聖書教会 / 北新瀧キリスト教会 / 衣笠中央キリスト教会 / 岐阜キリスト教会 / 希望が丘教会 / 希望が丘教会教育部 / 希望キリスト教会 / 清瀬グレースチャペル / 清瀬福音自由教会 / 久速キリスト教会 / 久喜福音自由教会 / 国立キリスト教会 / クライスコミュニティ / クライストコミュニティ / 東神戸リバイバルチャペル / 久里浜福音教会 / 栗山地の塩キリスト教会 / 久留米聖書教会 / グレース宣教会 / 高知喜ひキリスト教会 / 鴻巣福音自由教会 / 国分寺バプテスト教会 / 五香教会 / 佐倉王子台チャペル / 佐渡金井キリスト教会 / 三遠南信地区TCUセミナー / シオン祭TCU支援会 / シオン祭出店アラーム / 志賀キリスト教会 / 静岡サミル聖書教会 / 静岡めぐみ教会 / 渋谷教会 / 渋谷小隊 / 子母口キリスト教会 / 下馬福音教会 / シャカカタ日本語キリスト教会 / 自由ヶみめぐみ教会 / 招待キリスト教会 / 湘南のぞみキリスト教会 / 新鎌ヶ谷聖書教会 / 新札幌聖書教会 / 新船橋キリスト教会 / 新松戸福音
- 自由教会 / 菅生キリスト教会 / 杉並教会 / 鈴房園 / ゼエバンゼリカル・アライアンス・ヘミッショ / 聖書研究会 / 世田谷中央教会 / 草加福音自由教会 / 高田フアミリーチャペル / 高槻福音自由教会 / 高松キリスト教会 / 高松シオン教会 / 館山教会 / 玉川上水キリスト教会 / 多摩二ツタウン地域協力講演会 / 玉の肌石鹸株式会社 / たまプラーザキリスト教会 / 千葉北総教会 / 津田沼教会 / 手打ち齋亭なる堵 / 東京国際基督教教会 / 東御キリスト教会 / 東林聖書キリスト教会 / 所沢聖書教会 / 富山聖書教会 / 豊川中央キリスト教会 / 豊栄キリスト教会 / 豊橋ホサナキリスト教会 / 名古屋岩の上教会 / 名古屋福音自由教会 / 成瀬教会 / 新瀧福音教会 / 新津福音キリスト教会 / 西船橋キリスト教会 / 日本キリスト合同教会事務局 / 日本キリスト伝道会 / 日本聖約キリスト教団 / 日本長老教会 / 日本長老教会神奈川中会 / 日本長老教会東関東中会 / 日本同盟基督教団 / 日本福音キリスト教会連合南関東地区夏期聖会 / 練馬教会 / 野方ウエスレアン・メソジスト教会 / のびどめキリスト教会 / 波崎キリスト教会 / 蓮沼キリスト教会 / 鳩ヶ谷福音自由教会 / 浜田山キリスト教会 / 浜松中沢教会 / 東吾野キリスト教会 / 東久留米泉教会 / 東大和刈穂キリスト教会 / ひたち光教会 / 日立福音キリスト教会 / 日野原記念上尾栄光教会 / 福岡・山口地区学園 / 福岡めぐみ教会 / 仏子キリスト教会 / 府中西原キリスト教会 / 平和台恵教会 / ホーリネス100周年記念大会 / 堂池聖書教会 / 北海道地区TCUのつどい / 本郷台キリスト教会 / 町田南キリスト教会 / 松原聖書教会 / 馬堀聖書教会 / 三島キリスト教会 / 南柏聖書教会 / 室町教会 / めぐみ教会 / 恵みバプテスト教会 / 盛岡みなみ教会 / 守谷聖書教会 / 八街福音キリスト教会 / 八千代オンヌキリスト教会 / 八千代聖書教会 / 大和郡山めぐみ教会 / 有限会社アーセリック / ゆりのきキリスト教会 / 横浜キリスト福音教会 / 横浜シオンキリスト教会 / 横浜白山道教会 / 横浜山手キリスト教会 / リビングチャペル / 蕨福音自由教会 / Jae Hoon Lee / Nijikang Clovis Mehinai / Oiko Medina Bushunu Mataka / 徐有珍 / 青木俊介 / 赤江弘之 / 昭代 / 赤坂啓子 / 赤穂芳子 / 朝岡満喜子 / 朝岡勝 / 阿部伊作 / 阿部奨 / 阿部大・美歌 / 荒井創 / 有泉博子 / 安西愈 / 安藤博之・千恵 / 李京爽 /

匿名/池上王士・桃子/池田アイ/池田雄一詩
保/石井由紀/石川マリ/石原美智子/伊藤
天雄/伊藤心さ江/稲垣久和/井上和夫/米子
/井上聡・直子/井上人美/井上志乃/井上
貴詞/井上智彦/井上正彦/井上高子/井上
洋治/由枝/今井夫/今田和子/入江喜久雄
直美/岩崎凜花/岩田順也/岩田仁美/岩田
三枝子/岩間秀彬/岩本昇/上野優佳子/ウチ
ノカ△夏謝子/臼井淳一/内野雅之/稔子/宇
内千晴/瓜生正彦/古林正語/遠藤潔・禎子
/及川ゆかり/大久保千恵/大下由利子/大
島久子/大嶋義隆/大杉至/太田雅恵/大高
市子/大塚円/大手眞佐子/大橋秀夫/大森
幹夫/岡田美子/岡崎政子/岡田充代/岡田
浩平/岡田雄/岡野邦之/岡村又男/末子
/岡本容子/岡森雅浩・ゆかり/沖野/奥津安子
/小倉ほなみ/小笹崇代/小沢啓子/小澤紘
一/ナオミ/鬼塚弘通・啓子/小野浩一/小野幸
信/小町継太/小町誠一/織作恵子/鍵谷恵
子/影山範文/片岡政子/加藤恵子/加藤富
男/加藤美千代/金岡大二郎/金子寿子/金
子裕/龜谷涼子/川口恭生/川崎晴美/川島
敬子/川元久美/神田結実子/木内伸嘉/菊
地英則・子尋/菊池美/菊池幸枝/菊池良一・真
恵美/岸幸恵/北見ミチ/北村富彦・環/木下
幸治/金和弘/宮本奈緒子/金奎東/金明玉/
木村和弘・満枝/国東恵子/倉沢正則・多美子/
倉持裕子/栗原珠代/栗原芳/黒川知文
/匿名/黒水治雄/桑原淑行/賢賀英郎/匿
名/國分正子/越石利明/児玉武志・直子/
児玉光・照恵/後藤弘/小林清/小林茂/小
林高德/小林充尚・壽子/小林規子/小林宮
子/小宮隆雄/匿名/小山望/齊藤明夫/齋
藤和己/齋藤潔・ますみ/坂田稔/先崎輝夫/
佐久間謙介/櫻井菊子/笹川雅弘/佐々木静
/佐々木秀子/佐々木保雄/佐藤省三/佐藤
隆之・亜紀/佐藤直子/佐藤良子/佐中久美
子/沢谷千代子/塩澤忠・紀子/塩見治子/
篠原基章/柴田幸士・昌子/柴田初男/柴田
美枝子/浜田由紀子/渡谷和之/島田務・弥
生/島田治夫/清水清美/清水尚子/清水ゆ
り香/下田博文/朱田珍安/城島豊/白倉ま
り子/白柳勝/白垣千鶴子/菅沼威/菅原好
江/鈴木明子/鈴木和泉/鈴木成二/薄佳志
子/鈴木二美代/鈴木政則/鈴木美絵/鈴木
ミネヲ/鈴木洋子/スエバノ・フランクリン/
角田由理子/諏訪雅彦/関野祐二/千田由美

高木直也・その枝/高木はんな/高瀬真・貴
子/高梨雅子/高橋篤/高橋信希・千尋/高
橋伸幸/高橋めぐみ/高橋義和/匿名/宝崎
町子/高力弘一郎/千鶴子/田口弘子/田口寛
/武井邦夫/竹本喜代子/多胡真太郎/田島
真夕美/田近玲奈・亜紀子/立石圭子/立
石翼/立山剛/田中秀之/田中恭子/谷資都
恵/谷本栄治・澄江/田淵健一郎・恵子/匿名/
田村あかり/田村真・崔在郎/千葉健太郎/
曹光勲/塚田浩司/塚田真理子/辻智恵/匿
名/辻本文子/坪谷芳和/鶴岡はつ/寺田文
男/桃原俊幸/時田敏彦/徳梅陽介/匿名/
匿名/富所正史/外山節子/豊島集司/内藤
真奈/長石寛/中尾芳也・啓代/中川洋佑・麻
祐/中沢久美子/中野れい子/永山治/中山良
誠/長友信子/中野れい子/永山治/中山良
男/並木公子/並木孝之/匿名/匿名/並木
由喜子/奈良大和/成澤希子/南村かおり
/西操/西村敬憲・麻利子/西山幸子/西山
実/根本信子/根岸幸加/根城昌美/野下和
広/野島工工SONO聖美/野田信光/拜高
真紀夫/萩原孝/蓮井智子/蓮尾英二/長谷
部秀英/畑和雄/畑中健太郎/花園文字/馬
場千晶/浜田晃功/林明信/林玲子/明日香
/早見友雄・美江/原豊人・千春/原裕昭・みは
る/原田惟座耶/原田靖彦・裕子/比嘉恵美
子/東中喜彦/久島健吉/泥合逸郎/ヒシヨッ
プ・カイ/日名信介/姫井雅夫/平井紀子/平
川俊光/江美/平川光宣・えり子/平田卓也/
平塚治樹/平野武男・登美子/平原まこと/廣
瀬・美穂子/廣橋信一/廣橋嘉信/フィリップ・
フオクスウエル/藤川弘子/藤嶋汰地/藤田
郁子/藤田正/藤田直樹/藤原真規子/藤原
美佐子/洲上英郎/洲野弘司/フライスマ・み
ゆ/古川弘幸・ボカネグ・恵/星山正一・英子
/細田浩/細谷潔・紀弥/堀内幸二郎/堀尾立
信・尚子/本間邦/本馬信義/前田倫男/前
濱義宗/牧野貞/牧野理恵/マクトエル・綾子
/増淵正恵/増原正香/松丸嘉也/園林栄
松永優・順子/松原正香/松丸嘉也/園林栄
喜・さゆり/丸山園子/匿名/丸山友子/万城
栄治・久美/万城紘・啓子/三川克己/三川京
子/溝口昌樹/三谷康人/三原了子/宮城妙
子/宮崎淳子/宮地宏一・恵/宮本京子/宮脇
星児・栄子/明長良・智恵/虫明英雄/匿名/
虫明令子/毛利佐保/森明夫・律子/森恵子
/守川初穂/森河裕子/森澤朋子/森田和子

森田哲也/森本文子/森本祥子/森本恵夫・
豊子/森本信幸・麻子/森本英利・好恵/森山
洋子/矢口美和子/谷中清子/柳沢美和子/
柳下弘/藪田三保子/山内慎也・史奈/山岡
勝次/山川暁/山口尚美/山口陽一/山下広文
/大和昌平/山本明子/山本和義/横内操/
横尾洋子/横田義弥/横山清行/留美子/横
山武/吉田雅尚/吉永啓次・あや子/吉持章
吉持日輪生/李相勇/若田部嘉代/和田郎・
栄子/和田紘一/和智慶郎・智絵

大学院献金
枝川愛の教会/志賀キリスト教会/新松戸キ
リスト教会/津豊ヶ丘キリスト教会/東大宮
福音自由教会/みことば福音教会/盛岡みな
み教会/阿久津康彦・荒井創/新井竜治/伊
藤天雄/岩田順也/岩田三枝子/宇内千晴/
大龍恵理也・和子/川島敬子/川島祥子/神
田結実子/久米のぞみ/倉沢正則・多美子/小
林高德・宮子/櫻井菊子/笹川雅弘/篠原基
章/柴田初男/高橋拓也/高橋泰子/武田順
児/田中幸子/中山良男/根岸幸加/馬場千
晶/早川佳枝/原田惟座耶/堀内亨祐/森健
/山口陽一/大和昌平/横森剛

教会音楽献金
夏期教会音楽講習会/柏キリスト教会/志賀
キリスト教会/自由ヶ丘めぐみ教会/湘南の
ぞみキリスト教会/千葉栄光教会/筑波みこ
とは教会/蓮沼キリスト教会/匣下がりのコ
ンサート/みふみバプテスト教会/八街栄光キ
リスト教会/八千代キリスト教会/横芝キリ
スト教会/匿名/伊藤天雄/岩田順也/岩田
三枝子/宇内千晴/大高市子/川島敬子/神
田結実子/菊池美/木下ドーラ/君塚光治/
倉沢正則・多美子/小林高德・宮子/篠原基章
/高取直子/高橋泰子/匿名/富所正史/内
藤真奈/中沢久美子/根岸幸加/牧・松永優・
順子/溝口昌樹/匿名/山口陽一/大和昌平

夏期伝道献金
市川北バプテスト教会/クロスロードチャーチ
岡山/群馬国際キリスト教会/椎名町教会/
千葉北総教会/チャペル献金/福音の家/富津
教会/町田金井バプテスト教会/満濃キリス
ト教会/伊藤天雄/岩田三枝子/犬童幹子/
川島敬子/川元久美/神田結実子/菊池美

倉沢正則・多美子/黒川知文/小林高德・宮子
/篠原基章/清水清美/城定千世子/シヨナ
サ・ル・シー/島海祥/根岸幸加/野瀬朋子
/朴哲濬/原田靖彦・裕子/藤田直樹/宮原
尚美/森本恵夫・豊子/柳沢美和子/山口三
治/山口陽一/山下真実/大和昌平/吉田雅尚
/吉永啓次・あや子

異文化実習支援献金
徐有珍/石塚恵司・和子/伊藤天雄/岩田三
枝子/加藤美杏香/川島敬子/川元久美/神
田結実子/倉沢正則・多美子/小林高德・宮子
/篠原基章/菅原好江/匿名/根岸幸加/早
川佳枝/森優子/森田哲也/柳沢美和子/山
口陽一/大和昌平/吉田雅尚

教会教職者志望学生奨学金基金
志賀キリスト教会/馬堀聖書教会/八千代聖
書教会/朝岡満喜子/榎木紀男/匿名/伊藤
天雄/岩田三枝子/内山茂生・智佐江/宇内
千晴/大龍恵理也・和子/川島敬子/神田結
実子/木内伸嘉/菊池美/倉沢正則・多美子/
小林高德・宮子/佐藤乃里子/佐藤良子/
篠原基章/柴田初男/谷口精子/徳梅陽介/
島海祥/中川洋佑・麻祐/並木孝之/根岸幸
加/野瀬朋子/馬場千晶/早川佳枝/久島健
吉/平塚治樹/平原まこと/廣橋嘉信/溝口
昌樹/三井平康/匿名/森健/柳沢美和子/
山口鋭子/山口三治/山口陽一/山下真実/大
和昌平

留学生奨学金基金
志賀キリスト教会/Babe, Rebecca/徐
有珍/阿部伊作/伊藤天雄/岩田三枝子/宇
内千晴/大下由利子/岡田浩平/岡田雄/長
下部昇/川島敬子/川島祥子/神田結実子/
菊池美/倉沢正則・多美子/匿名/小林高德
/小林宮子/篠原基章/島海祥/島海洋/内
藤真奈/根岸幸加/原田惟座耶/藤田直樹/
溝口昌樹/匿名/森恵子/森健/森優子/森
田哲也/森本恵夫・豊子/柳沢美和子/山口
鋭子/山口三治/山口陽一/大和昌平

学校法人東京キリスト教学園
明日の世界宣教師育成募金
〇〇二〇一五七五七六四八

Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料
問…問い合わせ先 申…申し込み先

教会教職特別セミナー

日 1月22日(月) 13:00～15:30

講 滝田新二(片柳福音自由教会牧師、
特定非営利活動法人片柳コイノニア代表)

タイトル 「地域と共に歩む教会(仮)」

所 国際宣教センターチャペル

料 一般2,000円 支援会員1,000円(当日入会可)

申込内容 ①氏名 ②電話 ③E-mail ④所属教団・教会名

申込締切 1月17日(水)

申 国際宣教センター

E-mail:fcc@tci.ac.jp Fax:0476-31-5521

データブック 『日本宣教のこれからが見えてくる』 CD-ROM版(好評発売中)

グラフ・図がカラーで表も見やすい、プレゼン資料も収録

料 定価1,000円+税

【CD-ROMの内容】

- データブック「日本宣教のこれからが見えてくる」
—キリスト教の30年後を読む
- データブック FCCブックレット 宣教の革新を求めて
(付属データ付)
- プレゼン資料:1. JCE6ワークショップ発表資料(PowerPoint)
2. 「震災と信仰調査」(PowerPoint)

【編著】第6回日本伝道会議
「日本宣教170▶200 プロジェクト」

東京基督教大学
国際宣教センター 日本宣教リサーチ

申 東京基督教大学国際宣教センター

E-mail:fcc@tci.ac.jp FAX:0476-31-5521

住所・氏名・必要冊数・Emailアドレスをお送りください。
代金のお支払いは商品同封の振込用紙をご利用ください。
(送料実費もいただきます)

入試日程

	出願期間	試験日	合格発表
修士・第二期一般・留学生試験	1/8(月)～1/15(月)	1/26(金)	2/8(木)
第2回教会音楽専攻科入試	1/9(火)～1/18(木)必着	2/3(土)	2/8(木)
神学部・第I期一般入学者選抜	1/9(火)～1/15(月)必着	2/3(土)	2/8(木)
神学部・第II期一般入学者選抜	2/19(月)～3/1(木)必着 ※窓口は3/9(金)正午まで受付	3/12(月)	3/14(水)

発行人:学長代行 大和昌平

編集:東京基督教大学「大学報編集委員会」 270-1347 千葉県印西市内野三丁目301番5 TEL.0476-46-1131 FAX.0476-46-1405
URL www.tci.ac.jp Facebook www.facebook.com/TokyoChristianUniversity

冬学期 希望が丘エクステンション

「キリストのように生きる」

日 1月27日(土) 9:30～15:30

講 菊池実(本学教授)

第1回「イスラエルの歴史、キリストに至る歴史」

第2回「キリスト者のライフスタイル(破れ口に立つ生き方)」

日 2月17日(土) 9:30～15:30

講 山口陽一(本学教授)

第3回「トマス・ア・ケンピス『キリストにならいて』」

第4回「『キリストにならいて』生かされて」

所 カンバーランド長老・希望が丘教会(横浜市旭区)

料 一括8,000円(一講義2,500円) 支援会割あり

申込締切 1月19日(金) 必着

問申 教務部 希望が丘エクステンション係

TEL:0476-46-1131

E-mail:extension@tci.ac.jp

本学ウェブサイトからも申込可

卒業・修了記念コンサート

日 2月16日(金) 19:00～

所 大学チャペル

料 入場無料・申込不要

問 教務部(s-music@tci.ac.jp)

TEL.0476-46-1131

春期卒業式

日 3月9日(金) 13:30～15:00

所 大学チャペル

問 総務部 TEL.0476-46-1131